

令和7年3月31日（火）

報道機関 各位

家庭看護・健康生活支援講習のあゆみ
「赤十字講習 100 年 家庭から地域へ」企画展
4月1日から日赤本社（東京都港区）にて開催

日本赤十字社（本社：東京都港区、社長：清家篤、以下「日赤」）は、いのちと健康を守る「赤十字講習」のはじまりから100年の節目にあたり、時代のニーズに応じた「ケアのかたち」を追い求め、暮らしに寄り添い続けてきた“赤十字講習の100年”を振り返る企画展を開催します。

日赤は、1925年12月23日に戦時救護や災害救護で蓄積したノウハウを一般市民に普及することで、より多くの命を救おうと「救急法」「家庭看護法」を2つの柱とする「衛生講習会」を開始しました。

昨年は、企画展「99年目の救急法」を開催しましたが、今回の企画展では「家庭看護法」を中心に引き上げ、個人からより地域に目を向けた形に変化する講習の変遷をたどります。

かつて、クリミア戦争の救護から戻ったフローレンス・ナイチンゲールは、*Notes on Nursing*『看護覚え書き』の中で、看護という行為は誰もが自然に経験するものであるという意味で、「女性は、誰もが一生のうちにはいつかは看護婦になる」と述べましたが、今やその主語は、性別や年齢に関係なく、誰もが互いに支えあうことを目指す時代になりました。

100年前、日本人の平均寿命は50歳に満たない時代でしたが、たとえ平均寿命が延びた現在であっても、「健康であること」が人間の幸福の礎であることは変わりません。

戦前の衛生講習、戦後の家庭看護講習、そして現在の健康生活支援講習へ。

健康安全に役立つ、具体的な知識と技術をこれからも提供し続ける、赤十字の100年をご覧ください。

本企画展は、未曾有の激動と変革、苦難と復興の時代であった昭和を振り返る内閣官房の「昭和100年」関連施策に登録し、実施しています。

■企画展概要

会 期：2026年4月1日（水）～2027年3月25日（木）

開館日時：火・水・木曜日 10：00～12：30 / 13：30～16：30

※祝日、創立記念日（5月1日）、年末年始を除く。

会 場：日本赤十字社 本社 1 階「赤十字情報プラザ」（東京都港区芝大門 1-1-3）

入館方法：完全予約制（入場無料）

予約フォーム <https://www.jrc.or.jp/webmuseum/plaza/>



問 合 せ：03-3437-7580（赤十字情報プラザ）

そ の 他：企画展の内容は、過去の開催分も含めて「赤十字 WEB ミュージアム」でもご覧いただけます。

赤十字 WEB ミュージアム ※4月1日（水）10：00 公開

<https://www.jrc.or.jp/webmuseum/column/>



赤ちゃんの入浴法をまなぶ 赤十字家庭看護法の講習風景（1950年代）

特別企画

赤十字講習 **100** 年 家庭から地域へ

～家庭看護・健康生活支援講習のあゆみ～

赤
十
字

WEB
ミュージアム

《本件に関するお問合せ先》

日本赤十字社 広報室（メディアの方へ）：<https://www.jrc.or.jp/media/>

